

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 【新】アグリパークサポート体制構築事業費補助金 (R8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農政課 スマート農業推進係 電話番号：058-272-1111(内4023)

E-mail : c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 補正要求額 8,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 収 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	8,000	4,000	0	0	0	0	0	0	4,000
決 定 額	8,000	4,000	0	0	0	0	0	0	4,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

アグリパーク構想に基づく多様な主体が農業に参入するためには、農業用機械一式が利用できる必要がある、多様な主体は経営規模が小さいため、機械一式を購入して揃えていては経営が成り立たない。そこで、これまでに無い低価格で農業用機械をシェアして利用できる地域システムの構築し、参入障壁を引き下げることが不可欠である。

(2) 事業内容

特に担い手の減少が著しい中山間地域では、中小規模の農業者の離農・廃業に伴い、それまで個々に利用してきた農業用機械が、鉄くず事業者等に引き取られ、処分されいる。

そこで、こうした未利用となる農機具を集約し、新たに農業参入する多様な担い手がシェアリングできるマッチングシステムを構築し、これまでに無い、超低成本な農業機械のシェアリングを実現するための経費に対し補助する。

①マッチングシステムの構築

農機等のマッチングシステムを構築するための既存システムの試行、改良、農機保有情報やニーズ調査等を実施。

②地域内シェア体制構築

地域内の中古農業機械の購入やリースバック等によりシェアリング機器を整備。

事業主体：市町村、JA、「アグリパーク構想実行計画」に位置づけられた活動団体等

補助率：①：定額、②：1／2以内

(上限額：200万円×4地区)

(3) 県負担・補助率の考え方

- ①県1／2、国1／2
- ②県1／4、国1／4

(地域未来交付金（地域未来推進型）の活用を想定)

(4) 類似事業の有無

- ・スマート農業技術等導入支援事業のうち中山間地域等農業機械共同利用支援事業（補助率1／2）
- ・農業支援サービス・スマート農業技術等導入支援事業（補助率1／2）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,000	2,000千円×4地区
合計	8,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業活性化基本計画（2026～2030年度）（仮称・令和8年3月策定予定）
 - I 新たな担い手の確保
 - 1 多様な主体の参画促進

(2) 国・他県の状況

農機のシェアリングシステムは、さいたま市、深谷市（埼玉県）、前橋市（群馬県）、多古町（千葉県）など多数実施されているが、農機会社が提供するサービスのため、農機会社のシェアする機械の新規購入が前提となるため、本事業で目指す超低コストなシェアリングは実現できない。

(3) 後年度の財政負担

アグリパーク構想の実現のために必要な事業であり、次年度以降も継続した支援が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

アグリパーク構想の実現のために必要な事業であり、アグリパーク構想に関わる市町村、JA、活動団体が事業主体となる必要がある。

県単独補助金事業評価調書

■ 新規要求事業
□ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	アグリパークサポート体制構築事業費補助金
補助事業者（団体）	<p>市町村、JA、「アグリパーク構想実行計画」に位置づけられた活動団体等 (理由) アグリパーク構想を実現するための事業であり、補助事業者は当該地域のアグリパーク構想の関係者及び関係者で組織する団体である必要がある。</p>
補助事業の概要	<p>(目的) アグリパーク構想に基づく多様な主体が利用するための超低価格な農機シェアリングシステムを構築する。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①マッチングシステムの構築 農機等シェアリングのためのマッチングシステムの構築や試行、改良、農機保有情報やニーズ調査等を実施。 ②地域内シェア体制構築 地域内の中古農業機械の購入やリースバック等によりシェアリング機器を整備。
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 補助率：①：定額 ②：1／2以内 (理由) 類似事業である、スマート農業技術等導入支援事業のうち中山間地域等農業機械共同利用支援事業や農業支援サービス・スマート農業技術等導入支援事業と同等の補助が必要</p>
補助効果	アグリパーク構想に基づく多様な主体が農業への参画を実現
終期の設定	<p>終期 12年度 (理由) ぎふ農業活性化基本計画（2026～2030年度）（仮称・令和8年3月策定予定）</p>

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
 超低価格な農機シェアリングシステムを構築し、多様な主体がボーダレスに農業に参画できる社会を実現する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
アグリパーク構想を通じ農業に参画した主体数		0			10 (累計) 550	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 将来的には、当該事業の農機シェアリングシステムを発展させ、人材や業務のシェアリングなど、地域全体をサポートする仕組みに発展させる。
